

吹奏楽部ウイングベイで演奏

学道一如

発行 小樽双葉高校
生徒会通信
2024年1月30日
第60号

1月20日、吹奏楽部は小樽築港駅横イオン・ウイングベイで演奏した。OG7名とのスペシャルコラボで、4階まで連なる大勢の買い物客に音楽の贈り物をお届けした。曲目は「アイドル」「日本を勇気づける名曲メドレー」「オフィシャル髭男メドレー」「YMCA」。観客から大きな拍手が贈られた。



司会は亀石澤さんと天野瑛真さんが務めた。

他のオケとも合奏

吹奏楽部は1月21日、顧問の水澤大地先生が率いるSapporo Hearts Wind Orchestraが札幌市民吹奏楽祭に出演するのの際し、援助出演をした。曲は「レ・ミゼラブル」。総勢50人ほどの演奏になり、「勉強になった」と振り返っている。
更なる向上を求めて
今後の予定は3月の卒業式の演奏と後志吹奏楽フェスティバルでの演奏だ。「少ない人数で、どのように双葉らしい音を届けられるか」。美しい演奏を追求する模索は続く。

園児も手拍子 1/17 音楽同好会のミニライブ



伊藤孝将
三影はつか
山谷愛花
大塚翔太

Novalは「天体観測」「怪獣の花歌」を披露。



須田志々和
埜澤一花
渡部未来

「リカ」「ヒロイン」を披露。



昼休み、園児も一緒に演奏を楽しんだ。

小樽切り絵カルタ ⑤ (て~と)



鉄道の歴史を今に しずか号

小樽市総合博物館は旧「鉄道記念館」の遺産を引き継ぎ、国内最多の50両の車両を展示している。「しずか号」は一八八四年、米国で製造され、手宮で組み立てられた。

手をつなぐ 海越えナホトカ タニデン

小樽は港町の縁で2つの都市と姉妹提携している。ロシアのナホトカ市（人口17万5千）とニュージーランドのダニーデン市（人口11万人、坂と石造建築物で有名）である。文化・教育・スポーツの交流が続く。

トド、アシカ、イルカ、ペンギン 芸達者

一九五八年、北海道大博覧会の施設として水族館が祝津に建設され人気を博し、その後公社により運営、移転、改築された。動物のショーが人気で30万人を超える来場者がある。

洞窟画 文字が壁画か 大論争

手宮の洞窟の岩に彫刻が刻まれている。文字が壁画が学術論争があったが、現在の彫刻は岸壁画であると考えられ、約一六〇〇年前に刻まれたと推定されている。